

一般質問 町政を問う

会派の名称				
自民	自民	公明	住民	改革
クラブ	明	自治	みずほ	日本
	の	の	の	共産
	会	会	の	党
			党	党

質問文は、質問者本人が200字以内で執筆した原文をそのまま掲載し、答弁は内容を要約して掲載しています。

政権交代による町への影響は



原 成兆 議員 (自民)

町長 少なからず影響が出ている

質問 民主党政権が期待と不安の中でスタートし、自公政権で可決した補正予算のうち約3兆円が執行停止になった。町への交付金・補助金等の金額・内容についても大幅な影響が予想される。そこで、来年度から4年間の予算編成について、次の点を町長に伺う。
問① 政権交代による町施策への影響は。
町長 子育て応援特別手当の支給が中止となるなど、町の行財政運営にも少なからず影響が出ている。
問② 教育振興基金の活用見直しと施策は。
町長 22年度から、若者の夢

を実現し、社会に貢献する人材を育成するための新たな支援策を展開したいと考えている。
問③ 地域経済活性化へのさらなる対策は。
町長 住宅改修等補助金を拡大し、温室効果ガス削減効果の高い一般家庭用機器の導入を促進する予定である。
問④ 4年間を見据えた町づくりの予算は。
町長 歳入確保に努力するとともに、財源配分の重点化を行い、実行性のある予算を編成していく。



福祉課児童係の窓口

単身、要介護高齢者のための「生活支援付き住宅」について

青山 晋 議員 (公明)



町長 今後の課題であり、可能性を研究していく

質問 高齢化時代を迎えた現在、町でも高齢化が進んでいる。標記の「生活支援付き住宅」は、民間の老朽化して借り手がなくなった木造アパート等を改築して、町・NPO等が連携して生活支援を行う、切れ目の無い地域ケアシステムである。日常生活の支援を必要とする単身で低所得の高齢者に対し、安心して、住み慣れた地域で生活が続けられるように、自治体が率先して取り組む必要があると考えるが、町長の所見を伺う。
町長 現在、生活実態調査をもとに策定した

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、単身要介護高齢者には、ふれあい訪問事業、生活支援ヘルパー派遣事業など各種実施している。提案については、早急に整備する状況にはないと認識しているが、高齢化の進展に合わせ、低所得の単身者で介護が必要な方の生活支援が、今後課題になると考えて



配食サービスを受ける高齢者

学業・芸術・スポーツに秀でた児童・生徒への育英制度の充実を

森 亘 議員 (自民)

町長 提案に向け、準備を進めている



質問 学業・芸術・スポーツなどで、極めて優秀と判断できる児童・生徒に対し、家庭環境に因ることなく安心してスキルアップできる制度を創出するべきである。これは、現在、小中学校教職員の駐車料金として年間総額約300万円が一般会計に入っている。これを財源相当分とすれば制度の創設は可能と思われる。そこで、(仮称)瑞穂町人づくり夢づくり給付条例の制定を提案するが町長、教育長の所見を伺う。
町長 3期目の方針として、奨学金制度の拡



総合文化祭開会式での文化賞表彰 (二中吹奏楽部)

充を示した。町や社会に貢献する人材を育成するための支援策を展開すべきと考え、現在、提案に向け、準備を進めている。ただし、駐車料金の活用については、現段階では学校施設の維持管理費に充当することが適当である。
教育長 スポーツや芸術を志す人材に対しては、分野、種目の選定など、支給基準が難しく、成果に応じた報償的な制度とするか、先行投資的な制度とするかが課題である。
町長 町民意識調査やまちづくり懇談会などでいただいた意見を踏まえ、取り組む。

こんな質問もありました
第4次長期総合計画策定に向けての取り組みは。